

令和3年(2021)1月23日 第38号



高槻・五領の環境と
子どもの未来を守る会 News



年頭 ご挨拶

明けましておめでとうございます。

コロナウイルス感染症がまん延し、政府から緊急事態宣言が発出される状況下では新年を心穏やかに迎えられなかったことを残念に思います。高槻市においてもコロナウイルスが市中感染していると思われるぐらい毎日、多くの陽性者数の発表があり、ひたひたと身近に迫って来ていると感じています。皆様におかれましては、細心の注意を払い健康に過ごされることをお祈りいたします。

昨年はNO2測定の中止も含め、多くの催し物が中止に追いやられました。ある種の脱力感を味わいながら、コロナウイルス感染症に気を取られている間にも新名神の工事は進み、また、高槻市の2021年度～2030年度の第6次総合計画が12月議会で議決されました。次に掲げる将来の都市像の基本構想が示されました。①憩いの空間で快適に暮らせるまち、②安全で安心して暮らせるまち、③子育て・教育の環境が整ったまち、④穏やかに暮らし、ともに支え合うまち、⑤行き交う人々でにぎわう魅力あるまち、⑥良好な環境が形成されるまち、⑦地域に元気があって市民生活が充実したまち、⑧効果的な行財政運営が行われているまち。具体的な実施計画はこれからです。

記事紹介 ☆ 年頭 ご挨拶 ☆ 小山田徹 アーティストトーク
☆ 新名神高架下・内が池の活用 ☆ 2020年「守る会」歩み&2021年



発行 : 高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会
代表 : 上田 博夫
住所 : 〒569-0003 大阪府高槻市上牧町1丁目3-17 上牧公民館内
電話番号 : 090-2283-1619 (村井)
ホームページ : <https://takatsukigoryo-mamorukai.jimdofree.com/>

私たちがこの地域をどのようにしたいか、具体的に言えるようになるには幅広い知識を有することが必要ではないかと思ひ、今年は芸術・文化的なことも含め「学ぶ機会」を多く作ろうと役員会で決めました。

今年も取り組むべき課題を皆さんと進めて行き、また、共に学び、情報を発信して行く所存です。コロナ禍ではありますが、マスク着用、指手消毒、検温、換気など安全対策を講じた上で、定例「守る会」を開催致します。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

2021年1月23日

高槻・五領の環境と子どもの未来を守る会

代表 上田 博夫

・・・小山田徹 アーティストトーク・・・ “共有空間の獲得”

次回定例会にて 2月27日(土) 16時～ 上牧公民館
美術家 小山田徹(こやまだ・とおる)さん(京都市立芸術大学(彫刻)教授)には、昨年10月24日、春日神社で開催された五領アートプロジェクト主催の、「山田徹 in 五領「小さな火床をつくる」」をご指導頂きました。今回は“共有空間の獲得”をテーマとしたアーティストトーク です。 防寒対策、マスク着用でご出席を！

新名神高速道路 高架下空間の活用

内が池 水辺に親しみ、自然環境を学習する場として活用

都市計画マスタープラン（素案）の実現へ！！

知恵を絞って 高槻市 都市創造部へ 提案しよう！

令和5年完成予定で新名神高速道路の進延工事が進んでいます。元々、五領地区は幹線道路が集中するネック部です。将来的には、複合された環境公害問題の発生も懸念されます。街の将来のありようを洞察力を働かせて見直し、その対策に手を打っておきたいものです。

さて、昨年年末に、高槻市より「都市計画マスタープラン（素案）」が発表されました。10年後までの都市計画案ですが、私たちにも重要な内容が含まれており、下記①～④の項目が記載されています。

- ① 住民参加の必要性・地域を良く知る住民の積極的参加が必要（p-25）
- ② 都市づくりとまちづくり・地域住民や・様々な主体が参画して行うのが“まちづくり”で、“まちづくり”に取り組む事が必要（P-25）

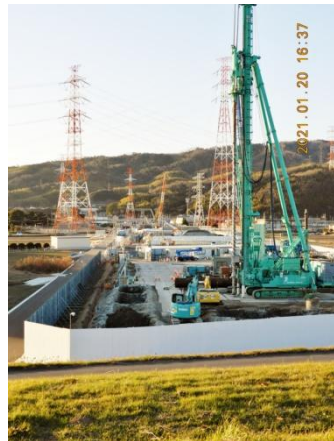
そして、五領地区とほぼ重なる「高槻東地域」^{☆1}に関しては、以下の記載があります。

- ③ 新名神高速道路の整備促進と併せて高架下空間の活用について検討します。（P-51）

- ④ 内が池については、水辺に親しみ、自然環境を学習する場として活用を計ります。（p-51）

①～④を併せて考えれば、広大な高架下とそれに交差する内が池を合わせた空間を、地域生活と文化の核となる場所として活用を計る方法を、高槻市との協働作業としての街づくりを、住民から提案しながら実現していくのも可能でしょう。

☆1 都市計画で分類される、「高槻東地区」と一般に私達が使う「五領地区」の範囲が微妙に違ってきます。



2020年 「守る会」活動の歩み & 2021年



2020年は、コロナに明け、コロナにくれた年になりました。「守る会」も十分な活動は出来ませんでした。コロナ後には世界観が変わろうとする流れが本格化するかもしれません。「守る会」も今年を考える為に、今一度昨年を見直します。

① NO₂測定 : 年2回実施しておりました地域内のNO₂測定は、コロナ過の波にのまれて、実施できませんでした。

② 内が池再生計画 支援 実施できませんでした。
「里道」草刈り }

③ アロン化成跡地——大和ハウス所有地——

梶原4丁目自治会、グリビア自治会と協力、連合自治会の助力を得ながら、大和ハウスが建設、キーエンスが入居する物流倉庫建設計画に関し、交渉と話し合いをもった。非常に順調に進展していましたが、利用者となる予定の「キーエンス」が今回のコロナ禍で計画中止を決定しました。

④ 「守る会ニュース」、3～6月&8月 休刊

⑤ 9月 五領アートプロジェクト・小さな火床をつくる 春日神社 後援

⑥ 12月 大倉清教氏講演会 「デザイン思考」で高槻の未来を考える

2021年は、コロナ後の新時代に向けて、「学ぶ機会」を多く作り、有効な発言力を磨き、動く力を身につけましょう。その為に、アーティストトーク、講演会、ワークショップ、演奏会などを出来るだけ多く企画する予定です。

「産廃焼却炉対策協議会」は考え、動く集団でした。これを母体として発足したこの会が、もう一度考え、動く会の活力を回復していく一年になればと願っています。

編集部 : 「守る会」は、その前身である「産廃焼却炉建設反対協議会」での活動を引継いでいます。今年は動く集団に戻る第一歩を歩みだしたいと考えます。コロナ後、今までの価値観を見直し、再構築して進みます。

次回「守る会」定例会は、2月27日、第4土曜日

16:00～18:00、上牧公民館（上牧町本澄寺前）で開催します。

連絡は、事務局村井 (masa569@tcn.zaq.ne.jp) 迄